

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名	保育所入所等措置事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 青木洋治
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり	所属課	子育て支援課	担当者名 西村 幸
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援	所属班	子ども保育班	(内線) 2158
				法令根拠	児童福祉法 合志市保育の実施に関する条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	2
	1	3	2	3	10580			コスト削減優先度評価結果	4

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
認可保育所へ保育に欠ける乳児、幼児等の入所、退所等実施を行う。また、保育の実施に要する保育所運営費を支弁する。

【業務の流れ】  
入所実施: ①保護者からの入所相談 ②保育所入所申込書等受付 ③入所申込書審査(勤務状況、所得、希望保育所空状況) ④入所決定(入所保育園、保育料)伺い ⑤入所決定通知書  
運営費支弁: (1)運営費助成事務 ①運営費請求書受付、審査 ②支払事務(支出負担行為、支出命令書作成) (2)公費負担金交付申請事務 ①運営費(国庫、県費)概算請求 ②負担金交付決定 ③変更交付申請④実績報告 ⑤負担金確定通知 ⑥負担金精算交付申請

【主な予算費目】  
1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 市内保育所14園及び市外保育所41園に延べ17,772名の入所及び退所に関する措置を行った。また、入所措置に伴う運営費補助として、1,294,492,210円を支払った。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 19年度に引き続き、市内保育所14園及び市外保育所に関して入退所の措置を行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ・就学前の保育に欠ける児童及び世帯 ・認可保育所	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 人 ア 就学前児童 イ 市内保育所 園
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・仕事と子育ての両立ができる。 ・入所児童が安心して過ごせる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 ア 保育に欠ける児童 イ 認可保育所 園
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 安心して仕事ができる	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 人 ア 市内保育所定員 イ 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) 人 ア 延べ入所者(広域を含む) イ 保育所に入所している児童数/保育所の入所を必要とする児童数 %

(2) 総事業費・指標等の推移																											
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	18年度実績(決算)	333,060	19年度実績(決算)	363,610	20年度目標(当初予算)	411,713	20年度実績(決算)	406,297	21年度目標(当初予算)	433,800	22年度(目標)	463,652	23年度(予定)	全体計画	年度								
			都道府県支出金	千円	166,530	181,805	213,657	203,148	229,900	240,612	総トータルコスト	0	0	0	0	0	0	0	0								
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0										0	0	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	315,421	311,582	322,344	338,475	362,000	363,012																	
			繰入金	千円																							
	一般財源	千円	282,409	295,309	339,849	347,704	367,209	382,724																			
	(A) 事業費計	千円	1,097,420	1,152,306	1,287,563	1,295,624	1,392,909	1,450,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	8	7	7																		
		延べ業務時間	時間	2,495	2,210	2,500	3,270	3,000	3,000																		
		(B)人件費計	千円	9,905	8,796	9,950	13,015	11,940	11,940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0								
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,107,325	1,161,102	1,297,513	1,308,639	1,404,849	1,461,940	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
活動指標		人	3420	3511	3581	3619	3652	3725																			
対象指標	人	1400	1442	1570	1574	1620	1740																				
成果指標	人	1290	1300	1320	1320	1320	1440																				
上位成果指標	%		97	100	95	95	98	100																			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどの理由で、家庭において十分な保育ができない児童がいたため、昭和29年4月1日に旧西合志町に2園保育所を認可、それに伴って保育所に対して運営費を支払うようになった。合志町でも同12月より1園を認可した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
児童福祉法は、改正がされているが、保育所入所に関する根本的な変更はなし。しかし、共働き世帯の増加や、核家族の増加により、保育所入所を希望する児童数が増加している。また、旧合志町の南部地区や旧西合志地区の須屋地区は、新興住宅やアパートの増加により児童数が急激に伸びている。一方、既存地区に関しては児童数が減ってきており、入所を希望する保育所に偏りが出てきている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
自宅近くの保育所を希望する人が多く、住宅地の近くの保育所を希望する場合、入所できない場合が多数起こっている。希望保育所(自宅近くの保育所)へ入所できるように、定員増や新設保育所を作ってほしいとの声が多く寄せられている。人口の増加及び経済状況の悪化に伴う経済的な理由での保育所希望する保護者が増えたり、待機児童が発生し、保育所を増やしてほしいとの要望が上がっている。保育所からは、運営費の増額等の要望がある。

事務事業名	保育所入所等措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 子育てと仕事の両立支援の観点からも重要な役割を果たしている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 子育てをしながら、安心して仕事ができるようにするためにも必要。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 保育に欠ける者という対象は、妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現在の保育所は、定員より上乗せて児童が入所していたり、入所希望の偏りにより希望する保育所へ入所できない場合も多数発生している。新設保育所を住宅地へ作ることや、現在の各保育所定員の見なおしも必要である。また、支払っている保育所に市から監査に入り、運営費の用途等の指導を行うことで成果の向上ができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 現在の入所児童は約1,400人にもなり、廃止・休止すると仕事へ行けなくなるなどの影響が考えられる。また、市内の幼稚園・認可外保育所の定員は1,400名分はなく、すべての児童を受け入れることは困難である。また、運営費の支払いも、保育所入所措置に付随する事業のため、休止・廃止は出来ない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法は？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 保育に欠ける就学前の全ての児童を受け入れるだけの類似事業はない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 運営費は定員が増えるほど単価が下がるため、少ない定員で125%までの弾力運用をするよりも、その上乗せの人数を含めた定員にした方が、同じ人数でも運営費が下がってくる。そのため、市としてはできる限り適正な定員管理に勤めたほうが良い。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正規職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 申請受付時に家庭の状況等を聞き取りをしたり、家庭状況を詳しく審査して決定をするため、正規職員以外での措置決定は難しい。また、受付時に家庭状況等の聞き取りを行うので、延べ業務時間を削減することも難しいと思う。また、運営費についても、請求書を提出してもらい支払処理をする、補助金申請をする等の最低限の事務
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 対象を保育に欠ける児童としているので、公平である。また、運営費についても国の基準に従っているため、公平・公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 保育計画の整備(地域の児童数などに合った定員管理を行う)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
定員の増減については、各保育所での申請が必要のため、園長会との協議をきちんと行う必要がある。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	3	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	3	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )